

感謝祭ウィーク ～米消費動向は また 英ブレグジット交渉にも注目

2018年11月19日(月)

11月22日は11月第4木曜日ということで、
米国では感謝祭(ThanksgivingDay)の祝日となります。

米国の祝日はベテランズデーのように株式市場などが開いているものや
株式市場なども含めてお休みとはいえず、
取引が可能な為替市場ではそれなりに参加者がいるというケースがありますが、
感謝祭はみな比較的しっかりとお休みを取ることが多いため、
取引参加者の少ない日となります。

基本的に様子見ムードが広がる展開が見込まれますが、
英国のEU離脱(ブレグジット)問題をうけて
ポンドが不安定な展開を続けており
閑散な中で不安定な展開を見せる可能性がありますので要注意です。

その翌日、23日の金曜日は東京市場が休場なのはおもかく
米国ではブラックフライデーとなります。

感謝祭翌日のセールが本格的に始まる日のことで、
ここから米国のクリスマス商戦がスタートします。

米国の家計消費のかなりの部分を占めるといわれるクリスマス商戦の動向は
米個人消費の勢いを確認する重要なポイントだけに注目されるどころ。

具体的に数字が出てくるのは先の話となりますが
ニュースなどで状況が報じられる可能性があるだけに要注意です。

米国以外での注目はブレグジット問題の動向です。

13日にメイ首相がEU離脱協定案について閣内合意を取り付けたと報じられ、
いったんはリスク警戒が弱まったポンドですが、

14日にラーブEU離脱担当相、マクベイ雇用年金相および
副大臣格となる閣外相からヴェラ北アイルランド担当閣外相ら数名の辞任が報じられ
ポンド売りが広がりました。

また、離脱協定案について、閣外協力をしてきた北アイルランドの地域政党DUPが、
反対の意向を示しており、議会通過が非常に難しい状況となるなど
同問題の動向は深刻化しています。

英国のEU離脱協定案の承認を行う予定であったEU首脳会合は
25日に開かれる予定になっていますが、
状況が変われば開催しないとトウスクEU大統領は発言しており
状況はかなり不透明。

メイ首相に対する不信任決議案が出た場合に
成立する可能性まで広がっており、状況はかなり複雑になっています。

25日予定のEU首脳会合以外に決まったスケジュールがあるわけではないですが
日々状況の変化が起こりそうで、市場の注目を集めそうです。

ここに掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、特定の商品などの投資の勧誘を目的としたものではありません。
最終的な投資判断は、お客様ご自身の判断と責任によってなされ、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても「株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド」では責任を一切負いかねます。「株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド」は、信頼できる情報をもとに情報を作成しておりますが、正確性や完全性について責任を負いません。ここに掲載されている情報は、作成時点のものであり、市場環境等の変化などによって予告なく変更または廃止されることがあります。ここに掲載されている情報の著作権は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドに帰属し、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドの許可無しに転用、複製、複写はできません。株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド